


(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	株式会社 エフエム山形
実習期間	平成 29年 7月 29日 ～ 平成 29年 8月 25日
学生氏名	成田 蒼良
実習プログラム	第1回 7/29(土)山形市遊学館ホールにて行われた公演サポート 第2回 8/6(日)鶴岡市湯野浜海水浴場 「SEA SIDE STATION 2017」 第3回 8/11(金)イオンモール天童 「芳賀タウンまつり in イモ天」 第4回 8/19(土)赤川花火大会 第5回 8/25(金)エフエム山形スタジオ
学び・気づき (300字程度)	運転中やデスクワーク中など、普段の生活の中で触れることが多いラジオですが、仕事として見ることができたのは大きな収穫でした。また、いかに自分が物事を体験し、その場の空気・雰囲気はどう感じたか。情報をただ晒すのではなく、滲ませることが大切だと知ることが出来ました。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	実習の中に相手の話を聞きながら分析など考え事をしていることがあり、自分のものさしを捨てる・頭の掃除をすることで、自然に耳に入る“聞く”でなく、意識的に注意して聞く“聴く”を心掛けたいと思います。しかしながら、私は僧ではないし自分のものさしを捨てるのは容易ではないと思っているので、まずは自覚し捨てる姿勢を大切にしていきたいです。マニュアル族・指示待ち族なる私ですが、今回の実習で人間関係であったり、言動・行動を逆引きするなどの改善のきっかけを得ることが出来たため、日常生活の中で経験を蓄積していく所存です。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	普段の生活の中でラジオによく触れているのですが、それがどのように作られているかなど、生放送をしているスタジオ内から見る事が出来ました。インターンシップを利用したからこそより真近にラジオを楽しむことが出来、魅力の1つだと思いました。また、情報と伝える人との関係性から、ラジオという仕事としてやりがいがある良い場だと感じました。
写真 (1～3点)	

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	株式会社エフエム山形
実習期間	平成 29年 7月 29日 ～ 平成 29年 8月 25日
学生氏名	服部 元暉
実習プログラム	7月29日 遊学館ホール ラジオドラマ WANTED 運営補助 8月6日 湯浜海岸海水浴場 運営補助 8月11日 芳賀タウンまつり in イモ天 運営補助 8月19日 赤川花火大会 運営補助 8月25日 岩崎敬のラジオロイド 運営補助
学び・気づき (300字程度)	ラジオ番組と聞いて、最初はラジオを放送するだけなのかと思っていたが、イベントの運営や花火大会の実況中継などと様々な方面の仕事があることを知った。また、生放送をしている中で普段聞くことのできないCMの間の打ち合わせやトークを見ることができた。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	実際に職場に行き体験したことにより、職場の様子を知ることができた。そのため、今回学んだことを参考にして自分の将来の選択肢の1つとして考えていきたい。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	スタジオの外に多くのCDが置いてあり、リクエストの音楽を流すことができる。イベントを通して、多くのアーティストとの繋がりがあったり、MCやミキサーの方々がお互いに支えあっているためラジオ番組ができているのだと思う。 また、多くの人が共に協力することにより、ラジオ番組やイベントの達成感が非常に大きなものとなることが分かった。
写真 (1～3点)	